

# 日本トイレ大賞（防災担当大臣賞）受賞内容の要約

活動内容	避難所におけるトイレ衛生環境改善のための携帯トイレ・簡易トイレの技術開発と普及活動
活動名称	災害用トイレの技術開発

【災害時に誰でも容易に安心して使えること】 女性や子供が安心して使い、さらにバリアフリー設計

弊社では、災害用トイレの在り方として高齢者、障がい者、子供、女性が容易に使用できる事を肝要と考えています。

携帯トイレは、当初、凝固剤と袋の組合せで商品化しましたが、凝固剤を開ける際にこぼす可能性、間違っ  
て子供が舐めてしまう可能性、清掃局からの収集車内での破裂飛散する可能性などを考慮し、業界初の吸  
収シート式に変更しました。

さらに、外国人の方が被災されても使えるように、袋に印刷されている使用説明文を英文併記に改良し、  
観光立国を目指している我が国に対応してきました。

災害対策用品は「部材が紛失すると使えない」という事態は避けなければならないので、出来るだけ全部  
材を連結し、一体化させることが肝要です。

携帯トイレは使用手順を減らし誰もが容易に使えるように吸収シートと袋を一体化させ袋を開くだけで  
使えるよう改良してきました。

トイレブースは、段差が無く 3 パーツで組立時に工具不要とし、2 人で 5 分～10 分以内で組み立て可  
能です。強度を向上するために 3 層樹脂パネル（プラパール材）を採用し、フレームもアルミ成型材を使  
って耐風対策も向上させ、鍵部分も、より信頼性のあるものにて製造しています。（風速 15 メートルの耐  
風試験に合格。）また、車椅子が内部で旋回できる広さを確保し、ゆとりあるバリアフリー設計となってい  
ます。

マンホール直結型の組立式便器は、車椅子からの移乗の時などに、偏芯荷重が掛かっても転倒しにくく安  
全性を高くしています。組立ては折り畳みである脚を開いて、固定ネジを締めるだけとなり、細かい  
ネジの紛失が起きずにすばやく設置ができます。

簡易水洗式トイレは、少量の水でも綺麗に便器が洗浄できるような形状になっています。さらに、特殊  
封水トラップを採用し、下水管からの臭気上がりやハエの侵入防止を図っています。

【毎日使われ評価され、非常時でもキチンと使える】

災害用のトイレは、食品などと比べて平時に実際に試用されるケースが少なく、本当に衛生的に安全に使  
えるかが重要です。

弊社の携帯トイレは医療・介護分野や山岳登山者、特殊業務従事者の方などに毎日利用されています。  
そこでの信頼と共に多くのご意見を反映させて、常に改善と進歩を続けており、災害時でも安心してご使用  
頂ける携帯トイレとなっております。

【品質と安定供給のこだわり】

災害時に即時提供するために、生産を日本国内にこだわり、品質と生産量の安定化に努めています。

【使った後処理までが大切】

携帯トイレは使い捨てトイレです。使用後の処理まで考慮しなければなりません。回収後に焼却処理され  
ても有毒ガスの発生や大気汚染にならないことが必要であり、そのため、燃焼試験やガス検知試験などを  
行い、環境負荷を掛けない工夫を行っております。

## 今後の取組み

低炭素社会へ向けて、CO<sub>2</sub>削減のためにバイオ素材などを使用した環境に配慮した製品の開発。

また、資源循環型の生産技術開発も進行しています。

さらにグローバル化社会に対応して、より多くの国の方々にも安心して使っていただける災害用トイレの  
提供を使命と考えております。